

This Page Is Inserted by IFW Operations  
and is not a part of the Official Record

## BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

**As rescanning documents *will not* correct images,  
please do not report the images to the  
Image Problems Mailbox.**

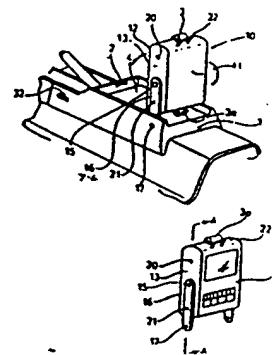
296-37.2 AU 3102 492C2

JP 404003739 A  
FEB 1992

(54) CONSOLE BOX DOOR FOR AUTOMOBILE  
(11) 4-63739 (A) (43) 28.2.1992 (19) JP  
(21) Appl. No. 2-175638 (22) 3.7.1990  
(71) KANTO AUTO WORKS LTD (72) RYUJI YAMAGUCHI  
(51) Int. Cl. B60R7/04, E05C21/00

**PURPOSE:** To improve visibility and operativeness from a rear seat with the back of a console box door main body fully utilized at a closed position by making the console box door main body in which a TV, etc., is built-in reversible, and moreover making the said body reversible even in a condition where it is opened to a vertical position.

**CONSTITUTION:** In the console box door main body 10 closing the upper surface opening part 4 of a console box 1, the surface 11 is formed as an arm rest pad, and a TV set 9 is built in the housing part of the back 12. The middle position of both the side parts of the door frame 13 of the door main body 10 is reversibly and pivotally supported with the tip part of an freely-oscillatory arm 16. An engaging hole 21 is formed on the middle part of the arm 16, and a slidable pin 20, provided on the side part middle position of the door main body 10 and outwardly energized with a spring, is made able to engage with the engaging hole 21. Locking nails 3 and 3a, engaging with a striker 2 provided in the upper front of the console box 1, are fitted to the front and rear surfaces of the door main body 10.



⑩ 日本国特許庁 (JP) ⑪ 特許出願公開  
⑫ 公開特許公報 (A) 平4-63739

⑬ Int.Cl.  
B 60 R 7/04  
E 05 C 21/00

章別記号 C 7149-3D  
A 8006-2E

⑭ 公開 平成4年(1992)2月28日

審査請求 未請求 要求項の数 1 (全4頁)

⑮ 発明の名称 自動車のコンソールボックスドア

⑯ 特願 平2-175638

⑰ 出願 平2(1990)7月3日

⑱ 発明者 山口 隆二 神奈川県横須賀市田浦港町無番地 関東自動車工業株式会社内

⑲ 出願人 関東自動車工業株式会社 神奈川県横須賀市田浦港町無番地

⑳ 代理人 弁理士 福留 正治

明細書

1. 発明の名称

自動車のコンソールボックスドア

2. 技術領域の範囲

コンソールボックスの上面開口部を開閉すると共に、該部を支点として上方へ開放する自動車のコンソールボックスドアにおいて、

反転によりドア本体の裏面裏面を向記防錠位置で裏面に位置付けできるように、向記ドア本体の裏面中間位置を向記上面開口部の側部に沿って配置されたアームにピンクし、

向記ドア本体が田島より前記開閉位置から並在万方向の開閉位置に位置付けされるよう、前記アームの基部を前記側部における前記支点位置にピンクし、

前記ドア本体の裏面裏面が手動操作を要する装置の取付部として構成されている、ことを特徴とする自動車のコンソールボックスドア。

3. 発明の詳細な説明

(産業上の利用分野)

本発明は、コンソールボックスの上面開口部を開閉すると共に、該部を支点として上方へ開放する自動車のコンソールボックスドアに関するものである。

(従来の技術)

従来にオーディオ装置が搭載されて、フロントコンソールボックスの後部又はシートバックに掛けられたコントロールスイッチを後席で操作するようになつた乗用車は周知である。また、リヤシートのアームレスト中に、テープレコーダー、電気暖等を入れて操作するのも周知である。

(発明が解決しようとする課題)

しかしながら、前者では後席からでもコントロールはできるにしてもテープ、CD等の交換は行えず、後者では大型車でなければ取付けは困難である。

本発明は、このような点に鑑みて、手動操作を要する装置を前席及び後席の双方で使用可能に取付する自動車のコンソールボックスドアを提供す

## 特開平4-63739 (2)

められた状態が状態となり、状態から状態を見ることができ、操作もできる。

### (実施例)

第1図～第6図は、本発明の一実施例によるコンソールボックスドアを示す。

第1図において、10はコンソールボックス1の上面開口部4を閉鎖するコンソールボックスドア本体(以下、単にドア本体とする)である。第1図11は操作用のパッドとして形成され、裏面12の取付部にはテレビジョン受信機9が組込まれている。ドア本体10のドアフレーム13の両側面の中間位置は、ピン15によりアーム16の先端部に反ぞ日本にピンクされており、その裏面はコンソールボックス1の上面の荷面にピン17によりピンクされている。TV受信機9は、その荷面に取付けられたばね付脚のボールをドアフレーム13の四隅に係合させてかまばねじ止め等で取付ける。

また、反転によりドア本体10の裏面11又は裏面12の裏方をアーム16に沿って裏方に位置

ることを目的とする。

### (裏面を開閉するための手段)

本発明は、この目的を達成するために、反転によりドア本体の裏面開口部を閉鎖位置で裏面に位置付けてできるように、ドア本体の裏面の中間位置を上面開口部の荷面に沿って配置されたアームにピンクし、ドア本体が裏面より前面位置から裏面方向の開放位置に位置付けられるように、アームの裏面を裏面における裏面位置にピンクし、ドア本体の裏面が手動操作を受ける裏面の取付部として構成されていることを特徴としている。

### (作用)

ドア本体は、前面位置において反転により裏面の取付部に固定的にもしくは適切的に取付された手動操作を受ける裏面が裏面に覆れる。これにより、裏面で裏面の裏面を開閉でき、また見ることもできる。

ドア本体は、アームの細部により前面位置から裏面方向の開放位置に位置付けられる。さらに、この状態で、M6に反転により裏面の取付部に取付けるように、両側のアーム16の中間部分には、第4図に示すように、底穴21が形成されると共に、ドア本体10の上下端からばね付位置にロッカヘビナ24で付替されたスライド可能なピン20が取付けられている。そして、底穴21にピン20が嵌入することによりロックされ、その先端のえみに沿って底穴21からばね力に依して係合されることにより裏方のピン20で反転位置にもロックされる。

ドア本体10の裏面及び裏面には、コンソールボックス1の上面開口方に取付けられたストライカ2に係合するロック爪3、3'が取付けられて、第5図に示す閉鎖位置にロックされる。このロック爪は、第5図に示すように、ドア本体10の裏面に裏面方向にスライド可能な位置と片には0.5、5mmで前方へ付替され、また裏面にピンクされたノブ22によりばね力に依して前方へ係合されることにより、ストライカ2から係合可能になっている。ロック爪3、3'とも両端が細部的に付替している。

アーム16の長さは、ドア本体10の半分長にロッカヘビ3、3'を加えた長さよりも短かに長く形成されており、その細部によりドア本体10を進行して裏面位置に固定させる。そして、ピン17には、第6図に示すように、脚25を形成されたカム26が取付けられており、この脚に係合方向に引張りばね28で付替された脚27が係合することにより、アーム16を裏面位置にロックする。そして、脚27の反対端をワイヤ30を介してレバー31に接続し、コンソールボックス1の裏面の切欠から裏方へ突出してそのノブ部32でピン33を中心して回転させることにより、係合せられるようになっている。

このように構成されたコンソールボックスドアの動作は、次の通りである。

第3図に示す通常状態で裏面11は肘当てとして機能する。そして、ノブ22を裏方へ引いてロックを解除し、ロック爪3、3'を押して両側のピン20を底穴21から係合させて反転させると、TV受信機9が裏に覆れて裏面で見ることが

特開平4-63739(3)

できる。さらに、後方で見たい場合には、アーム 16 を重ね力向外で回転させて車体爪 22 でロックさせる。この状態で、後方からTV受信装置を立てて見ることができ、操作もできる。

尚、ドア本体 10 の裏面 12 には、電熱線、C リセット、ラクカセ等の電子装置を組込込むことも考えられ、また収納部は特定の位置を固定的に付けるのでなく、オプション時はユーザの任意により位置を直観的に変更可能な取付構造にしておくこともできる。また、ドア本体 10 を開閉装置及び垂直開放位置に位置付けする機能としては、アーム及びコンソールボックス間にはアーム及びドア間の距離位置を利用した簡単な機能にするとも考えられる。

(発明の内容)

以上、本発明のコンソールボックスドアによれば、反転可能にすることにより車内も外部位置で活用でき、しかも垂直位置に固定した状態でも反転可能であることにより、後方からの見え方及び操作性も向上するように装置が收納される。つま

り、前記及び後方から共用できるように低かなスベースを利用して電子装置等の取付部が実現される。

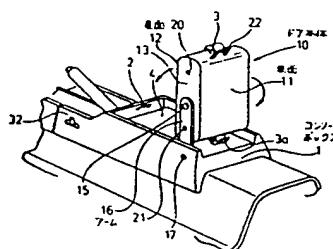
4. 図面の簡単な説明

第1図～第6図は本発明の一実施例によるコンソールボックスドアを示すもので、第1図はドア開放状態の側面図、第2図はドア開放反転状態の側面図、第3図はドアの閉鎖状態を示す側面図、第4図は第3図のA-A断面図、第5図は第3図のB-B断面図及び第6図は第4図のC矢印図である。

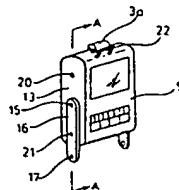
- 1—コンソールボックス、
- 9—テレビジョン受信機、 10—ドア本体、
- 16—アーム、

代理人 鹿野正吉

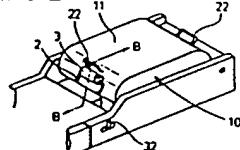
第1図



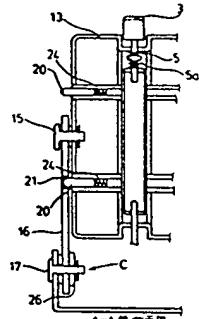
第2図



第3図



第4図



特開平4-63739 (4)

図5図

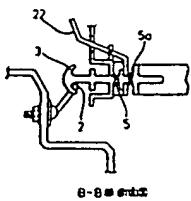


図6図

